

2011 年度 小委員会活動成果報告

(2012 年 2 月 1 日作成)

小委員会名	室内空気環境小委員会	主 査 名：柳 宇 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (空気環境運営委員会)	委員長名：佐土原 聡 主 査 名：倉 淵 隆
設 置 期 間	2009 年 4 月～2013 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>【設置目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 室内空气中の化学物質、微生物、臭気など室内空気汚染物質全般について既往の設計法や維持管理基準を検討する。 ・ 新しい設計法、測定法の規準の提案や居住者のための指針を提案する。 <p>【2011 年度計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ホルムアルデヒドに関する学会規準の改定原案を作成する。 (ホルムアルデヒド学会規準改訂 WG, 主査：鍵直樹) ・ SARS、新型インフルエンザウイルス感染等の文献と感染対策の事例に関する資料を収集し、日本国内の事情を考慮した感染対策法を中心とした報告書を作成する。 (室内空気環境におけるウイルス感染対策検討 WG, 主査：池田耕一) ・ AIJES-A003-2005 室内の臭気に関する対策管理規準・同解説の状況を勘案しながら改定原案を作成する。 (室内臭気規準改定 WG, 主査：光田恵) 	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：有り</p> <p>柳宇 (工学院大学)、池田耕一 (日本大学)、大場正昭 (東京工芸大学)、小竿真一郎 (日本工業大学)、鍵直樹 (国立保健医療科学院)、武廣絵里子 (鹿島建設)、湯懷鵬 (新菱冷熱工業)、野崎淳夫 (東北文化学園大学)、長谷川麻子 (熊本大学)、堀雅弘 (横浜国立大学)、光田恵 (大同大学)、山口一 (清水建設)、横山真太郎 (北海道大学)、吉澤晋 (愛知淑徳大学)、高塚威 (新日本空調)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 微生物アカスタ改訂 WG (2009.4.1～2011.3.31) ・ 浮遊微生物サンプリング法学会規準作成 WG (2009.4.1～2011.3.31) ・ 室内空気環境におけるウイルス感染対策検討 WG (2010.4.1～2012.3.31) ・ ホルムアルデヒドアカスタ改訂 WG (2010.4.1～2012.3.31) ・ 室内臭気規準改定 WG (2010.4.1～2012.3.31) ・ ハウスダスト調査 WG (2012.4.1～2014.3.31) ・ 燃焼排ガス汚染検討 WG (2012.4.1～2014.3.31) ・ 臭気 AIJES 改訂 WG (2012.4.1～2014.3.31) 	
2011 年度予算	180,000 円	ホームページ公開の有無：無し 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	該当なし
講習会	該当なし
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	該当なし
大会研究集会	該当なし

<p>対外的意見表明・パブリックコメント等</p>	<p>該当なし</p>
<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<p>当初計画の通り、委員会活動を行った。 空気環境運営委員会主催「第20回東日本大震災対応緊急空気シンポジウム「空気環境を守る」の一部を担当。 2011年度大会環境工学部分研究協議会「これからの大都市の安全・安心と環境工学の役割」の一部を担当。 また、傘下の3WGの活動状況は下記の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 室内空気環境におけるウィルス感染対策検討WG：年3回の委員会を開催した。当初計画通り、関連最新情報を収集し意見交換を行った。また、2009年におきたパンデミックについて、その前の年(2008年度)と翌年(2010年)の全国生徒患者数と気象データの関連について検討を行い、その成果を論文にまとめ学会誌に投稿する予定である(達成度→100%)。 ② ホルムアルデヒドアカスタ改定WG：年4回の委員会を開催した。2005年後のWHOを含めた国内・海外の最新情報を収集し、学会規準改定についての議論を行ったうえで、学会基準改定の原案を作成した。なお、本WGは2012年度より企画刊行運営委員会に移行する予定である(達成度→100%) ③ 室内臭気規準改定WG：年3回のWGを開催した。学会規準改定についての議論を幅広く行った結果、今年度中改定するための必要な資料をまとめることは困難であるとの結論に至り、一度WGを廃止したうえで、新規のWGを設置し、より詳細な検討を行うこととなった(達成度→80%) <p>また、本小委員会で検討した結果、次年度から下記の3WGを立ち上げることとなった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① ハウスダスト調査WG(2012.4.1～2014.3.31, 主査：東賢一) ② 燃焼排ガス汚染検討WG(2012.4.1～2014.3.31, 主査：野崎淳夫) ③ 臭気AIJES改訂WG(2012.4.1～2014.3.31, 主査：光田恵)
<p>委員会活動の問題点・課題</p>	